

電力周辺関連事業



業績ハイライト

売上高は、連結子会社の定期点検工事の受注等による増収等により、前期に対し1.3%増加の3,458億円となりました。

セグメント利益(経常利益)は、売上の増加等により、前期に対し8.7%増加の90億円となりました。

事業の概要と特徴

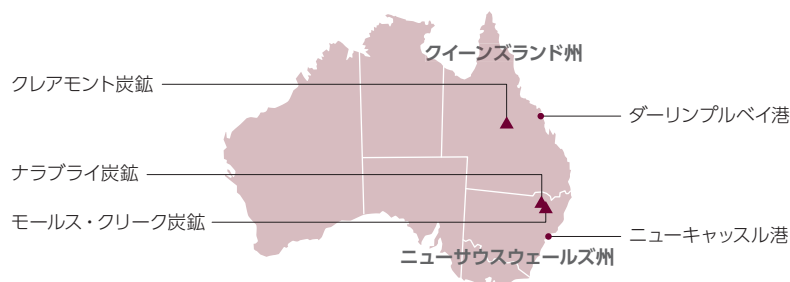
電力周辺関連事業は、電気事業の円滑かつ効率的な遂行をサポートする事業を展開しており、具体的には電力設備の設計・施工・点検保守や、石炭の輸入、自社専用船を活用した石炭輸送等、発電所や送・変電設備の運営に必要な周辺事業を実施しています。

国内卸電気事業の電力設備の保守については、J-POWERと子会社が一体となって行っています。

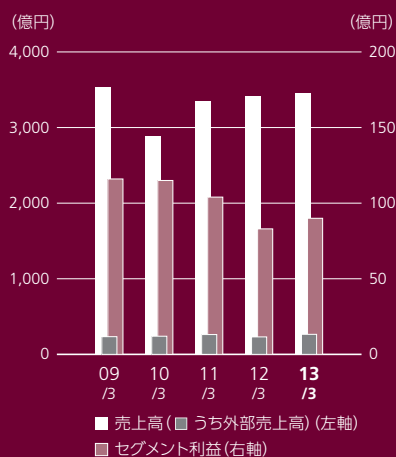
石炭調達

J-POWERは、年間約2,100万tの一般炭を調達する日本最大のユーザーとして、主に豪州やインドネシアから石炭を輸入しています。そのうち豪州では子会社を通じて炭鉱プロジェクトの権益を保有しています。

世界の石炭需給は、中国・インドをはじめとする新興国の需要やLNG等の石炭以外のエネルギー資源動向、その他地政学的要因等によって大きく変動します。こうした中であっても、J-POWERは火力発電用燃料としての石炭を長期で安定調達すべく、炭鉱権益等上流部分での関与を拡大し多様な調達ソースを確保しています。



セグメント売上高/セグメント利益*



* 2009年3月期は営業利益を、2010年～2013年3月期は経常利益を表示しています。

炭鉱プロジェクト

(2013年3月末現在)

炭鉱名	所在地	積港地	2012年生産量 ^{*1}	当社取得権益 ^{*2}	出炭開始年
クレアモント炭鉱	クィーンズランド州	ダーリンプルベイ港	827万t (約1,200万t/年)	15%	2010年
ナラブライ炭鉱	ニューサウスウェールズ州	ニューキャッスル港	143万t (約600万t/年)	7.5%	2010年
モールズ・クリーク炭鉱	ニューサウスウェールズ州	ニューキャッスル港	— (約1,070万t/年)	10%	2014年(予定)

*1 括弧内の生産規模は今後想定されるピーク生産量を記載しています。

*2 子会社であるJ-POWER オーストラリア社を通じて出資しています。

(注) 当社グループが10%の権益を取得しているプレアソール炭鉱は、2012年11月に生産を終了しています。